

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第47号 平成30年12月3日発行





総合教育センター開放事業

支えます

「学びの杜の冬休み~ふれる・つくる・考える~」の御案内

当センターでは、今年も「子どもたちの豊かな体験活動を応援します」をテーマに、『学びの杜の冬休み ~ふれる・つくる・考える~』を実施します。お子様のみならず、親子でも、大人の方でも、楽しく学べ る活動をたくさん御用意してお待ちしていますので、ぜひ、御来場ください。

日 時:平成30年12月15日(土)【雨天決行】 10時~15時 (開場9時30分)

会 場:栃木県総合教育センター

参加費:基本的に無料ですが、材料費がかかる活動もあります。

その他: 事前の参加申込みは必要ありませんので、直接御来場ください。

なお、講座によっては受付順による定員制となっておりますので、予め御了承下さい。

数に限りはありますが、サンドイッチ、おにぎり等の軽食の販売もあります。

予定している活動

「ふれる」活動・・・「パーカッションでアンサンブル!」「美味しい日本茶の淹れ方教室」

「スポーツ広場」「知ってる?できる?なつかしの遊び」等

「つくる」活動・・・「親子貼り絵教室」「勾玉(まがたま)をつくろう」「葉脈しおりを作ろう」

「にじ色に輝く万華鏡を作ろう」「益子の粘土で小物作り」等

「考える」活動・・・「マイナス196℃の世界を体験しよう!」「LEDで遊ぼう」

「はじめてのゲームプログラミング」「正三角形で鶴を折る」 等

【昨年度の活動の様子】







「おやこ ふれあい ひろば」

「いろいろな形をスタンプしよう!」「Scratch でつくる脱出プログラミング」

高校生のボランティアも大活躍!

イベントの詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

→Click / https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/blogs/blog_entries/view/155/a8ce22feb69239089ff005eec0367945?frame_id=204

【問合せ先】生涯学習部 (Im 028-665-7206)



栃木県教育研究発表大会の申込みスタート!

広げます

平成31(2019)年1月25日(金)、26日(土)に、平成30(2018)年度栃木県教育研究発表大会を開催しま す。県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究の成果が18の部会で発表されます。 多くの方々の参加申込みをお待ちしております。

【日程及び発表部会】

	1月25日(金)	1月26日(土)
9 時30分	○学校経営部会	〇校内研修部会
~12時	〇人権教育部会	〇特別支援教育部会
	〇児童・生徒指導部会	〇幼小連携部会
		〇小学校外国語教育部会
13時15分	〇学校安全部会	〇プログラミング教育
~15時45分	〇生涯学習部会	〇道徳科部会
	〇国語部会(中・高)	〇主権者教育部会
	〇社会、地歴・公民部会(中・高)	〇学力向上部会
	〇数学部会(中・高)	444
	〇理科部会(中・高)	
	〇英語部会(中・高)	403

※各部会の詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

⇒click / http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/h30-kenkyu/



参加申込方法

- ① 栃木県総合教育センターのWebサイトにアクセス。
- ② バナーをクリックし、大会のページへ。

お申込みは 平成30年度 こちらから

- り はまる をクリック。 (3)
- ④ 入力フォームに必要事項を入力し、参加する部会を選択
 - *申し込みの際にメールアドレスを入力すると、確認メールが 自動配信されます。
 - *同じ職場でまとめて申し込むこともできます。
 - * 平成 31 年1月 18 日(金)までにお申し込みください。



【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(研究調査部 Tel 028-665-7204)

たくさんの御応募ありがとうございました!

広げます

①第62回日本学生科学賞栃木県展覧会

今年度は、中学の部に8作品、高校の部に14作品の応募がありまし た。10月4日に栃木県総合教育センターで開催された審査委員会にお いて、6作品の最優秀賞をはじめ、優秀賞8作品、優良賞3作品が決 定しました。最優秀賞に選ばれた6作品は、この後、東京で行われる 中央審査に出品することになります。

今回、出品した全ての生徒が「自然界の奥深さ」や「探究の楽しさ」 などを味わうことができたのではないかと思います。本展覧会で期待し ているのは、学校の授業の中や身近な現象の中に隠れている疑問や謎を、 科学的手法を用いて解明するプロセスです。来年度も、物理・化学・生 物・地学・広領域のいずれかの領域で「科学する心」が伝わってくるよ うな作品がたくさん応募されることをお待ちしています。

なお、今年度の本審査に出品された作品は、今後、当センターのWe b サイトで12月中に公開する予定です。



中学の部 最優秀賞(知事賞) 「バイキンマンvsニンニクマン」



高校の部 最優秀賞 (知事賞) 「栃木県産有尾目の遺伝的多様性2」

→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h30-kagakusho/tenrankai.htm



② 第 68 回栃木県児童生徒発明工夫展覧会

今年度は、小学校から82作品、中学校から24作品、高等学校から 61 作品、小山市少年少女発明クラブから 66 作品、合計 233 作品の応募 がありました。10月17日に栃木県子ども総合科学館で行われた審査の 結果、金賞 10 作品、銀賞 15 作品、銅賞 20 作品が決定しました。10 月 19日~21日に開催された展覧会では、延べ1100人を超える来場者があ りました。金賞を受賞された作品は、「第77回全日本学生児童発明くふ う展」に推薦されます。

本展覧会では、小学生ならではの個性豊かな手作りゲームから、高校 生の技術力を駆使した、コンピュータ内蔵の実用的な作品まで、様々な 視点で作られたものが応募されました。今年度は、誰かの役に立つ作品 が数多く見られ、その中には災害時に役立つ作品もありました。

「発明」や「ものづくり」は、「考える」という要素を含んだ一つのプ ロジェクトです。知識と経験を生かして、試行錯誤しながら作品をつく ることは、「学びを人生や社会に生かそうとする力」につながるものです。 来年度も、楽しさや驚きのある発明品の応募をお待ちしています。

なお、今年度金賞を受賞した作品は、当センターのWeb サイトで公 開しています。



「おたすけ土のう隊、出動!」



金賞受賞作品 「クーラークーラー」

→Click/ http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h30-hatsumei/kinsyo.htm



